

図2 震源断層モデル（形状、アスペリティ、破壊開始点）  
 （アスペリティの数と破壊開始点の位置によって4ケースとなる。  
 1a、1b、2a、2bは破壊開始点であり、ケース名である。）

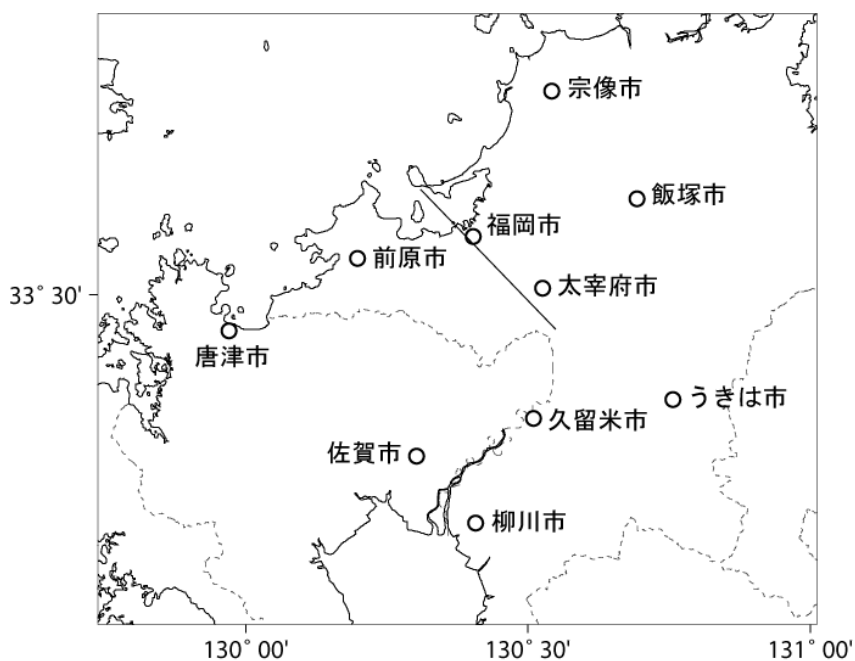


図3 強震動評価を行う対象領域

○は図7、図8で波形および応答スペクトルを示す地点